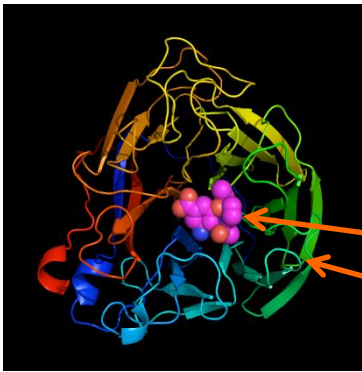


## 就実大学 生体分子化学研究室の紹介

◆ 就実大学薬学部 教授 平岡 修

本研究室ではタンパク質に焦点を当てて研究を進めています。タンパク質は生命現象の中心的な存在であり体の中でいろいろな役割を担っています。例えば酵素は、食べ物を消化して栄養を得たり、毒となる物質を酸化して解毒したりと生体が物質を変化させて利用するのに欠かせないものです。また、ケラチンやコラーゲンなどのような線維状のタンパク質は、毛、爪、骨などを作って体の形を維持したり、ミオシンは運動をするために筋肉を動かしたりしています。さらに、ホルモンは様々な情報を体全域に知らせ、ヘモグロビンは酸素を体の隅々まで供給しています。また、免疫グロブリンは抗体の成分として外敵から生体を守っています。以上のようにタンパク質の働きは実に多彩ですが、そのような多彩な能力はタンパク質がそれぞれ違った形(立体構造)を持っていることに起因しています。何らかの原因でその形が崩れた時に病気になります。私たちの研究室では、そのタンパク質の形を知って病気を治す薬を創ったり、生命現象のしくみを理解する研究を行っています。



インフルエンザウイルスのタンパク質に結合したタミフルの構造  
(ロシュホームページより転載)

タミフル

インフルエンザウイルス

その他の活動: 学校薬剤師(担当校: 石井中学校、岡山東商業高校)

スポーツファーマシスト(担当競技: 岡山県空手道連盟 専属)

### 減塩しよう!

大人の体内の塩分量は、体重の約0.15%で、神経伝達や栄養の消化吸收のサポート等重要な働きをしています。

大事な塩分ですが、世界的に見ても日本人の塩分摂取量が多いことがわかっています!

国が推奨する1日の塩分摂取量は、健康な男性 8.0g未満、女性 7.0g未満であるのに、対し、実際の塩分摂取量の平均は、男性 10.8g、女性 9.2gと、約 2~3gの過剰摂取になっています。

減塩をすることで、高血圧症や腎臓疾患等の病気を予防しましょう!

当薬局にて、減塩に関する以下の商品を取り扱っています!

・減塩だしの素



・ウレシオ



※塩分の摂取量が気になった方は、「減塩検定塩分オフ シオチェック」を試してみよう!

あなたが1日にどれくらいの量の塩を摂っているか、尿検査で調べることができます。

